

科目担当者氏名		科目担当者連絡先(メールアドレス)	
(ふりがな)	いとう こうき 伊藤 康貴	[REDACTED]	
連絡責任者氏名		科目設置機関名	
(ふりがな)	きむ みよんす 金 明秀	関西学院大学 社会学部	
授業科目名	科目認定番号	受講者数	
社会調査実習 I	KSGa-170716-0	4	

I. 調査実習に関するコメント	
<p>学生が果たした役割や実習全般に対する感想など： 本科目は、受講者それぞれの問いの発見から調査の企画、予備調査、本調査、データ分析、報告書作成までの質的調査の全過程を体験的に学ぶことを目的とした。とくに本科目では、フィールドワークやインタビューあるいは文献テキストの分析を中心に行った。具体的には、前半で参考文献の輪読から基本的な調査方法の考え方や調査にあたっての心構えをレクチャーし、受講生各自のテーマに関する先行・関連研究の調査と検討を通して各自の問いを深化させた。そして後半以降は、授業時間外にフィールドワークを敢行し、授業時間内外で得られたデータを整理検討し、記述と分析を行う中で興味深い報告書が作成された。</p>	
II. 調査の企画・設計 (デザイン)	
1. 調査のテーマ/領域： コンセプトカフェと現代社会とのかかわり/文化社会学	
2. 調査の内容/概要： コンセプトカフェを調査することを通じて、コンセプトカフェがもつ文化的意義を明らかにした。	
3. 調査の範囲/対象 (量的調査の場合は母集団と標本数及びサンプリングの方法を、質的調査の場合は対象者選定の理由を必ず記入)： 関西と関東にあるコンセプトカフェを予備調査し、そのなかからインタビュー調査に応じてくれた場所を選定した。	
4. 主な調査項目： 店の形態と運営、開店の動機、経営者のライフストーリー、ライフヒストリー、参与観察	
III. データ収集の方法と結果	
5. データ収集 (現地調査) の方法： 参与観察と経営者へのライフストーリー・インタビュー	
6. 調査の実施時期・調査地・調査員の数： 2017年9月～12月・関西、関東・1人	
7. 収集したデータの量と質への評価 (量的調査の場合は有効回収票数及び回収率を必ず記入)： これまでの関心にもとづいて様々なコンセプトカフェを参与観察しつつ、主要人物に深くコミットすることを通じて、深く広い調査データが得られた。	
IV. データ分析の方法と結果	
8. データ分析/解釈の方法： インタビューデータやフィールドノートの分析を中心に行った。	
9. 調査の成果 (調査から得られた主な知見など)： 人々の消費が、他の人に見せるSNSの形態とマッチすることによって、コンセプトカフェが浸透していった可能性が示唆された。	
10. 報告書刊行の予定と概要： 個人情報が含まれるため、科目受講者内でのみ共有し、公表はしない。	

- <記入上の注意点>
1. 調査のテーマ毎に用紙を替えて(3つのテーマを立てて実施した場合は合計3枚に渡って)ご記入下さい。
 2. 最上部の*印の箇所には数字を(「*/」には、報告書が複数枚になる場合のみ、3枚中の1枚目なら1/3と)ご記入下さい。
 3. 全ての項目について具体的に記入下さい。但し、1テーマ毎に印刷が必ずA4サイズ1枚に収まるようにして下さい。フォントサイズは変えず(設定してある通りにして)、項目毎に分量に応じて「行の高さ」を変えることで調整していただけましたら幸いです。
 4. 報告書はウェブ上で公開する予定です。また、調査実習情報をDB化することも検討しています。ご承知置きの上、ご記入下さい。